

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: 自然ふれあい担当
 内線: 3156 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
P13	自然ふれあい施設管理費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	自然公園等施設整備費			
事業期間	平成18年度～	根拠法令	地方自治法、都市公園法、埼玉県自然学習センター条例ほか			針路	10 豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	4, 6, 15		
						分野施策	1003 生物多様性の保全	SDGsターゲット	4-7, 4-a, 6-6, 15-7		
1 事業概要 県民が自然とふれあい、また、学習する機会を設けることにより自然保護思想の普及向上を図るため、施設周辺の自然環境の保全を図るとともに、県民が自然とふれあう場を提供するため、その拠点である自然ふれあい施設の適正な管理運営が必要である。 イ 自然ふれあい施設事業費 △4,687千円 エ 自然ふれあい施設借地料等 △315千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 自然ふれあい施設指定管理運営費(通年) 108,048千円→108,048千円 自然ふれあい施設3施設の管理運営に係る指定管理者への委託料 自然ふれあい施設Wi-Fi維持管理費 イ 自然ふれあい施設推進事業費(通年) 77,420千円→72,733千円 (ア) 自然ふれあい施設の施設改築工事や維持管理修繕(県実施分) (イ) さいたま緑の森博物館用地取得費、さいたま緑の森博物館森林管理 ウ 自然ふれあい施設長寿命化推進事業費 12,687千円→12,687千円 エ 自然ふれあい施設借地料等(通年) 17,297千円→16,982千円 さいたま緑の森博物館用地借地料等 (2) 事業計画 ア 自然ふれあい施設指定管理運営費 自然ふれあい施設3施設の適正な管理運営を行う。 イ 自然ふれあい施設推進事業費 計画的な森林管理、施設管理を行う。 ウ 自然ふれあい施設長寿命化推進事業費 計画的な施設改修を行う。 (3) 事業効果 指定管理者の適切な指導や、工事、用地確保等の施設管理を適切に行っていくことが、多くの県民の利用及び満足度の向上につながり、当事業の目的である自然保護思想の普及・向上及び県民の生活へ潤いを与えていくことの達成に繋がる。 【活動指標(アウトプット)】 施設の適正管理 3施設 【成果指標(アウトカム)】 施設利用者数 156,400人/年 (4) 補正予算の概要 ア 経費節減による減 △ 127千円 イ 緑の森博物館用地借地面積減 △ 315千円 ウ 用地取得費が見込みを下回ったことによる減 △4,560千円							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円											
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額		
		使用料・手数料	繰入金	県債							
決定額	△5,002			△5,000			△2	210,450			
現計額	215,452	109	20,000	42,000			153,343				

事業内訳書

事業名	自然ふれあい施設管理費		
単位事業名	自然ふれあい施設推進事業費	予算額	△ 4,687千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 総務債	△5,000	—	緑の森博物館用地購入事業債
一般財源	313	—	
合計	△4,687	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△19	—	経費節減による減
需用費	△108	—	経費節減による修繕料の減
公有財産購入費	△4,560	—	用地取得費が見込みを下回ったことによる減
合計	△4,687	—	

単位事業名	自然ふれあい施設借地料等	予算額	△ 315千円
-------	--------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△315	—	
合計	△315	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	△315	—	用地借地面積が見込みを下回ったことによる減
合計	△315	—	